

認知症の種類ってどんなものがあるの？

認知症にはさまざまな原因があり、原因によって症状の現れ方などに特徴があります。代表的な認知症には、以下の4つのタイプがあります。

<p style="text-align: center;">アルツハイマー型認知症</p> <p>物忘れから始まる場合が多く、他の主な症状としては段取りが苦手になる、薬の管理ができないなどがあります。</p>	<p style="text-align: center;">脳血管性認知症</p> <p>脳梗塞や脳出血、脳動脈硬化などが原因で発症する認知症です。物忘れや言葉が出にくくなるなどの症状が現れやすく、早いうちから歩行が不安定になりやすいなどの特徴があります。</p>
<p style="text-align: center;">レビー小体型認知症</p> <p>見えないものが見えるなどの幻視やその時々による理解や感情の変化のほか、すり足歩行やぎこちない動作（パーキンソン症状）などを伴います。</p>	<p style="text-align: center;">前頭側頭型認知症</p> <p>会話中に突然立ち上がる、同じ行為を繰り返す、興奮しやすく性格変化が見られるなどの症状があります。</p>

認知症になると、本人はどのように感じるの？

不安を感じる場合があります

最初は自分自身で、自分がこれまでとは違うことに気づき、物忘れによる失敗が増えるなど「何だかおかしい」と感じることがあります。「この先自分はようになっていくんだろう」「どうなってしまうんだろう」「自分は家族に迷惑をかけているのではないか…」というように不安を感じるようになります。

気分が落ち込んで、うつ状態になる場合があります

物忘れや失敗が増えることによって、これまでできていたことができなくなり、気分が落ち込み、うつ状態になってしまうことがあります。うつ状態になると意欲が低下し、趣味や外出をやめてしまったり、人と関わることも少なくなり、閉じこもりがちな生活になってしまいます。

怒りっぽくなる場合があります

何か失敗をしてしまった時に、どうしたら良いのか、またどうしてそうなってしまったのかが分からず、混乱してイライラしたり、不機嫌になることがあります。感情がうまくコントロールできなくなり、声をあげたり、手を出してしまうことで、不満や不快感を訴えたりすることもあります。

